

調査・研究 の名称	MID-NET®に基づく COVID-19 治療薬の処方実態調査及びベネフィット・リスク評価
調査対象 品目	2021年7月時点で、本邦で COVID-19 治療薬として処方され得た以下の医薬品（以下、「COVID-19 治療薬」） アジスロマイシン水和物、イベルメクチン、カシリビマブ（遺伝子組換え）・イムデビマブ（遺伝子組換え）、カモスタットメシル酸塩、サリルマブ（遺伝子組換え）、シクレソニド、デキサメタゾン、トシリズマブ（遺伝子組換え）、ナファモスタットメシル酸塩、バリシチニブ、ヒドロキシクロロキン硫酸塩、ファビピラビル、レムデシビル、ロピナビル・リトナビル配合剤
調査背景	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2020年1月16日に本邦で初めて患者が確認された新型コロナウイルス感染症（以下、「COVID-19」）の治療においては、当初は特異的な治療法が確立していなかったことから、既存の薬剤が適応外で利用されてきた。 ■ 2020年5月7日にはレムデシビルが COVID-19 治療薬として初めて特例承認された。新たなエビデンスの報告等を踏まえ、COVID-19 治療として推奨される医薬品は更新されているものの、本邦における実臨床でのベネフィット・リスクに関する情報は不十分である。
調査目的	COVID-19 治療薬が処方された入院患者を対象に、先立って評価した COVID-19 治療の処方状況の調査結果（以下、「処方状況調査結果」） ¹ を踏まえ実施可能な範囲で、肝機能検査値異常、腎機能検査値異常等の安全性等の評価を行う。
MID-NET® の選定理由 とデータ期間	<p>選定理由：保険適用前の COVID-19 治療薬を調査対象医薬品としており、電子診療記録が集積されているデータベースを選択する必要があったため</p> <p>データ期間：2019年1月1日～2021年12月31日</p>
調査方法 の概略	<p>■ 対象集団</p> <p>2020年4月1日～2021年12月31日の期間において、COVID-19に関連する傷病（以下、「COVID-19 関連病名」：ICD-10：U07.1（疑い病名を含む）、B34.2、B34.9、J18.0、J18.9 又は J20.9 のうちいずれか）の診療開始日の記録が1回以上ある患者を COVID-19 患者として特定した。うち、以下の全ての条件に該当する患者を対象集団とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 条件1：各 COVID-19 治療薬について、2020年4月1日以降の初回処方日の前後14日間に COVID-19 関連病名を有する患者 ◇ 条件2：初回処方日の前後14日間に COVID-19 にかかる入院加算の初回算定を有し、かつ、当該算定の前後14日間に入院日及び COVID-19 に関連する病名の診療開始日が1回以上あり、初回処方日の翌日以降に退院日を有する患者

¹ MID-NET®に基づく COVID-19 治療薬の処方実態調査及びベネフィット・リスク評価「MID-NET®を用いた調査結果の概要」
(<https://www.pmda.go.jp/files/000253129.pdf>)

◇ 条件3：最も早い COVID-19 治療薬の処方日 (t0) の前後 14 日間に COVID-19 にかかる入院加算の初回算定を有し、かつ、当該算定の前後 14 日間に入院日があり、t0 の翌日以降に退院日を有する患者

そして、t0 時点で処方された COVID-19 治療薬の組合せごとに群分けを行い、評価項目別に設定した以下の条件を踏まえて、各薬剤群において各評価項目に対する解析対象集団を特定した。

評価項目	解析対象集団の定義
肝機能検査値異常	入院日から t0 における AST 及び ALT の値がいずれも 500 IU/L 未満、及びいずれかの値は 100 IU/L 未満の患者
腎機能検査値異常	入院日から t0 における eGFR の値が 60 mL/min/1.73m ² 以上である患者
高カリウム血症	入院日から t0 における血清カリウムの値が 5.5 mmol/L 未満である患者
低ナトリウム血症	入院日から t0 における血清ナトリウム値が 125 mmol/L 以上である患者
ICU 入室	t0 に ICU 入室に関する加算がない患者
呼吸療法の導入	t0 に呼吸療法に関する診療行為※1 がない患者
死亡	対象集団全体

※1 酸素吸入、ネーザルハイフロー、非侵襲的換気、人工呼吸器や体外式膜型人工肺等に関する診療行為

■ 解析を行う項目及び方法

患者数が 20 人以上確保された薬剤群を対象に、患者数、追跡期間※1 及び患者背景を確認した上で、それぞれの評価項目に対応する以下のアウトカムの発現数並びに発現率及び 95%信頼区間を算出した。発現率及び 95%信頼区間については、性別・年齢で調整した人-時間法にもとづくポアソン回帰による推定を実施した。また、患者数が 200 人以上確保された薬剤群については、デキサメタゾン群を比較対照※2 とする Cox 比例ハザードモデルを用いて、粗ハザード比及び調整済みハザード比とその 95%信頼区間を算出した。調整に用いた因子は、各群の患者数及びアウトカムの発現数を踏まえ、基本的な患者背景因子である性別及び年齢のみとした。

評価項目	アウトカムの定義※3
肝機能検査値異常	同日の検査における AST 及び ALT の値がいずれも 100 IU/L 以上、又はいずれかの値が 500 IU/L 以上※4
腎機能検査値異常	eGFR が 60 mL/min/1.73m ² 未満※5
高カリウム血症	血清カリウム値が 5.5 mmol/L 以上※4
低ナトリウム血症	血清ナトリウム値が 125 mmol/L 未満※4
ICU 入室	ICU に関する加算がある
呼吸療法の導入	呼吸療法に関する診療行為※6 がある
死亡	死亡に関する記録がある

※1 追跡期間開始日：COVID-19 治療薬の初回処方日の翌日

追跡期間終了日：以下のうち最も早い日

- a. 処方継続期間終了日
- b. 他の COVID-19 治療薬の追加日又は切り替え日の前日
- c. 退院日
- d. データ期間終了日

なお、追跡期間を最大 30 日とする等、追跡終了の条件を変更させた追加解析を実施した。

※2 処方状況調査結果において処方患者数が多かったこと、また、COVID-19 に限定はされないものの重症感染症患者に対しては一定の使用実績があることから、比較対照に選定した。

※3 該当するアウトカム定義にそれぞれ初めて該当した日をアウトカムの発現日とした。

※4 「医薬品等の副作用の重篤度分類基準について」（平成 4 年 6 月 29 日薬安第 80 号厚生省薬務局安全課長通知、令和 3 年 12 月 6 日廃止）

※5 「エビデンスに基づく CKD 診療ガイドライン 2018」（日本腎臓学会）

※6 酸素吸入、ネーザルハイフロー、非侵襲的換気、人工呼吸器や体外式膜型人工肺等に関する診療行為

<p>調査結果の概略</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 各薬剤群における各評価項目の発現割合は別添表 1-1 及び表 1-2、デキサメタゾン群に対する粗のハザード比及び性別・年齢調整済みハザード比とその 95% 信頼区間は別添表 2 のとおりである。 ➤ 臨床検査値異常のうち肝機能検査値異常、腎機能検査値異常、高カリウム血症については、ナファモスタットメシル酸塩群の肝機能及び腎機能検査値異常は性別・年齢調整済みハザード比の 95% 信頼区間の下限が 1 を上回り、アジスロマイシン水和物群の肝機能検査値異常及びレムデシビル/デキサメタゾン群の高カリウム血症は 95% 信頼区間の上限が 1 を下回った。それ以外の薬剤の 95% 信頼区間は 1 を含んでいた。低ナトリウム血症については、いずれの薬剤においても性別・年齢調整済みハザード比の 95% 信頼区間は 1 を含んでいた。 ➤ 臨床検査値異常以外の評価項目のうち、ICU 入室については、ファビピラビル群及びレムデシビル/デキサメタゾン群は、性別・年齢調整済みハザード比の 95% 信頼区間の下限が 1 を上回った。アジスロマイシン水和物群及びナファモスタットメシル酸塩群は、95% 信頼区間の上限が 1 を下回った。呼吸療法の導入については、ナファモスタットメシル酸塩群及びレムデシビル/デキサメタゾン群は、性別・年齢調整済みハザード比の 95% 信頼区間の下限が 1 を上回った。死亡については、ナファモスタットメシル酸塩群のみ性別・年齢調整済みハザード比の 95% 信頼区間の下限が 1 を上回った。レムデシビル群、ファビピラビル群及びレムデシビル/デキサメタゾン群は、95% 信頼区間の上限が 1 を下回った。 ➤ なお、追跡終了の条件を変更させた追加解析において、得られた傾向に大きな違いはなかった。 <p>■ 結果を踏まえた考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 記述的な発現割合の解析結果に基づく評価には限界があるものの、各薬剤群における各評価項目の発現割合（別添表 1-1 及び表 1-2）について、ベネフィット・リスクバランスが保たれていないことをうかがわせる薬剤はないと考えられた。 ➤ 記述的な解析結果に基づく評価には限界があるため、実施可能な範囲で行った比較解析（処方患者数が多く、重症感染症患者に対して一定の使用実績があるデキサメタゾンを比較対照に選定）結果に基づく考察は以下のとおりであり、本比較解析結果（別添表 2）からも、ベネフィット・リスクバランスに大きな問題は認められないと考えられた。 <ul style="list-style-type: none"> ● 臨床検査値異常に関しては、性別・年齢調整済みハザード比に基づく結果ではあるものの、ナファモスタットメシル酸塩群を除いては、デキサメタゾン群に対してリスクが高い傾向は認められなかった。 ● 臨床検査値異常以外の評価項目に関して、性別・年齢調整済みハザード比に基づく結果ではあるものの、デキサメタゾン群に対して、ファビピラビル群では ICU 入室の発現率、レムデシビル/デキサメタゾン群では ICU 入室及び呼吸療法の導入、ナファモスタットメシル酸塩群では ICU 入室、呼
----------------	--

吸療法の導入及び死亡の発現率が高い傾向が認められた。

- 血液浄化療法を実施する際の還流血液の凝固防止としての効能・効果を有するナファモスタットメシル酸塩については、初回処方時点で血液浄化療法を実施した患者が約半数いたことを踏まえると、COVID-19 治療における血液浄化療法を要するような重症度の高い患者が含まれていた可能性が考えられる。他の COVID-19 治療薬についても、投与対象となった患者の重症度が影響した可能性が考えられる。
- 以上のとおり、本比較解析結果は、性別・年齢のみ調整した比較解析結果であり、いずれの評価項目においても、前述のように COVID-19 の重症度等の影響が考えられる。

■ **本調査の主な限界**

- 発現割合の記述に基づくベネフィット・リスクバランスに及ぼす影響の考察には限界がある。また、デキサメタゾン群との比較解析結果についても、性別・年齢のみの調整であり、COVID-19 の重症度、その他の潜在的な交絡因子が結果に影響を与えている可能性も否定はできないこと等、結果の評価において一定の限界があることに留意する必要がある。

表 1-1. 調査 2 における臨床検査値異常等の発現割合 (単剤群)

評価項目		単剤群全体	レムデシビル群	ファビピラビル群	イベルメクチン群	アジスロマイシン水和物群	ナファモスタットメシル酸塩単群	カモスタットメシル酸塩群
肝機能検査値異常	対象者数 (N, (%))	3513(100%)	554(100%)	195(100%)	58(100%)	796(100%)	377(100%)	90(100%)
	発現数 (N, (%))	235(6.7%)	21(3.8%)	12(6.2%)	0	41(5.2%)	68(18%)	<10*
腎機能検査値異常	対象者数 (N, (%))	2111(100%)	384(100%)	121(100%)	44(100%)	455(100%)	103(100%)	56(100%)
	発現数 (N, (%))	185(8.8%)	26(6.8%)	<10*	<10*	46(10.1%)	22(21.4%)	10(17.9%)
高カリウム血症	対象者数 (N, (%))	3639(100%)	567(100%)	196(100%)	58(100%)	802(100%)	405(100%)	93(100%)
	発現数 (N, (%))	170(4.7%)	13(2.3%)	<10*	<10*	32(4%)	39(9.6%)	<10*
低ナトリウム血症	対象者数 (N, (%))	3725(100%)	574(100%)	198(100%)	58(100%)	804(100%)	470(100%)	93(100%)
	発現数 (N, (%))	28(0.8%)	<10*	0	0	<10*	<10*	<10*
ICU 入室	対象者数 (N, (%))	2980(100%)	329(100%)	97(100%)	61(100%)	767(100%)	447(100%)	89(100%)
	発現数 (N, (%))	151(5.1%)	22(6.7%)	17(17.5%)	<10*	19(2.5%)	<10*	<10*
呼吸療法の導入	対象者数 (N, (%))	1630(100%)	234(100%)	85(100%)	46(100%)	346(100%)	158(100%)	71(100%)
	発現数 (N, (%))	383(23.5%)	59(25.2%)	26(30.6%)	<10*	76(22%)	54(34.2%)	<10*
死亡	対象者数 (N, (%))	3923(100%)	582(100%)	214(100%)	61(100%)	857(100%)	485(100%)	97(100%)
	発現数 (N, (%))	213(5.4%)	<10*	<10*	<10*	51(6%)	67(13.8%)	<10*
評価項目		デキサメタゾン群	シクロニド群	バリシチニブ群	トシリズマブ群	ヒドロキシクロロキン硫酸塩剤	カシリビマブ・イムデビマブ群	
肝機能検査値異常	対象者数 (N, (%))	1192(100%)	113(100%)	27(100%)	30(100%)	13(100%)	63(100%)	
	発現数 (N, (%))	85(7.1%)	<10*	<10*	0	<10*	0	
腎機能検査値異常	対象者数 (N, (%))	761(100%)	82(100%)	23(100%)	21(100%)	12(100%)	46(100%)	
	発現数 (N, (%))	67(8.8%)	<10*	0	<10*	0	<10*	
高カリウム血症	対象者数 (N, (%))	1255(100%)	118(100%)	27(100%)	32(100%)	14(100%)	67(100%)	
	発現数 (N, (%))	67(5.3%)	0	0	0	0	<10*	
低ナトリウム血症	対象者数 (N, (%))	1264(100%)	118(100%)	28(100%)	32(100%)	14(100%)	67(100%)	
	発現数 (N, (%))	11(0.9%)	0	0	0	0	0	
ICU 入室	対象者数 (N, (%))	937(100%)	123(100%)	24(100%)	29(100%)	14(100%)	57(100%)	
	発現数 (N, (%))	79(8.4%)	<10*	<10*	0	<10*	0	
呼吸療法の導入	対象者数 (N, (%))	474(100%)	90(100%)	<10*	<10*	11(100%)	95(100%)	
	発現数 (N, (%))	122(25.7%)	20(22.2%)	0	<10*	<10*	<10*	
死亡	対象者数 (N, (%))	1311(100%)	126(100%)	28(100%)	32(100%)	14(100%)	110(100%)	
	発現数 (N, (%))	80(6.1%)	0	0	0	0	0	

* MID-NET®の公表基準に基づき 10 未満の集計値が特定できないようマスクしている。

注) サリルマブ単剤群及びロピナビル・リトナビル配合剤単剤群では上記評価項目の対象者数がいずれも 10 未満であり、MID-NET®の公表基準に基づき集計値が特定できないようにマスクする必要があることを踏まえ、記載を省略した。

表 1-2. 調査 2 における臨床検査値異常等の発現割合 (併用群)

評価項目		レムデシビル/ /デキサメタ ゾン群	レムデシビル/ バリシチニブ 群	レムデシビル/ トシリズマブ 群	ファビピラビル /アジスロマイ シン水和物群	ファビピラビル/ ナファモスタッ トメシル酸塩群	ファビピラビル/ デキサメタゾ ン群	ナファモスタッ トメシル酸塩/ デキサメタゾン群
肝機能 検査値異常	対象者数 (N, (%))	794(100%)	54(100%)	22(100%)	40(100%)	30(100%)	95(100%)	42(100%)
	発現数 (N, (%))	73(9.2%)	<10*	<10*	<10*	<10*	<10*	<10*
腎機能 検査値異常	対象者数 (N, (%))	556(100%)	37(100%)	16(100%)	26(100%)	20(100%)	47(100%)	20(100%)
	発現数 (N, (%))	39(7%)	<10*	<10*	<10*	<10*	<10*	<10*
高カリウム 血症	対象者数 (N, (%))	843(100%)	55(100%)	23(100%)	42(100%)	31(100%)	96(100%)	46(100%)
	発現数 (N, (%))	20(2.4%)	<10*	<10*	0	<10*	<10*	14(30.4%)
低ナトリウ ム血症	対象者数 (N, (%))	843(100%)	54(100%)	23(100%)	42(100%)	31(100%)	96(100%)	46(100%)
	発現数 (N, (%))	<10*	0	0	0	0	0	<10*
ICU 入室	対象者数 (N, (%))	377(100%)	42(100%)	20(100%)	13(100%)	27(100%)	58(100%)	43(100%)
	発現数 (N, (%))	66(17.5%)	<10*	0	<10*	<10*	<10*	<10*
呼吸療法の 導入	対象者数 (N, (%))	113(100%)	<10*	<10*	16(100%)	<10*	17(100%)	<10*
	発現数 (N, (%))	57(50.4%)	<10*	<10*	<10*	<10*	<10*	<10*
死亡	対象者数 (N, (%))	859(100%)	55(100%)	23(100%)	42(100%)	32(100%)	96(100%)	47(100%)
	発現数 (N, (%))	14(1.6%)	<10*	0	0	<10*	<10*	<10*
評価項目		デキサメタゾン/ シクレソニド群	レムデシビル/ ナファモスタッ トメシル酸塩/ デキサメタゾン 群	レムデシビル/ デキサメタゾン/ バリシチニブ群	レムデシビル/ デキサメタゾン/ トシリズマブ群	ファビピラビル/ ナファモスタッ トメシル酸塩/ デキサ メタゾン群	レムデシビル/ アジスロマイ シン水和物/ デキサメ タゾン/ バリシチ ニブ群	ファビピラビル/ ナファモスタッ トメシル酸塩/ デキサ メタゾン/ シクレソ ニド群
肝機能 検査値異常	対象者数 (N, (%))	20(100%)	22(100%)	101(100%)	23(100%)	42(100%)	29(100%)	21(100%)
	発現数 (N, (%))	0	0	<10*	<10*	<10*	<10*	<10*
腎機能 検査値異常	対象者数 (N, (%))	10(100%)	17(100%)	74(100%)	14(100%)	26(100%)	20(100%)	<10*
	発現数 (N, (%))	0	<10*	<10*	<10*	10(38.5%)	0	<10*
高カリウム 血症	対象者数 (N, (%))	20(100%)	23(100%)	102(100%)	22(100%)	42(100%)	30(100%)	21(100%)
	発現数 (N, (%))	0	<10*	<10*	0	10(23.8%)	<10*	<10*
低ナトリウ ム血症	対象者数 (N, (%))	19(100%)	23(100%)	103(100%)	23(100%)	42(100%)	30(100%)	21(100%)
	発現数 (N, (%))	0	0	0	0	<10*	0	0
ICU 入室	対象者数 (N, (%))	18(100%)	20(100%)	46(100%)	10(100%)	43(100%)	28(100%)	19(100%)
	発現数 (N, (%))	0	<10*	<10*	<10*	<10*	0	<10*
呼吸療法の 導入	対象者数 (N, (%))	12(100%)	0	<10*	0	<10*	<10*	<10*
	発現数 (N, (%))	<10*	0	<10*	0	<10*	<10*	<10*
死亡	対象者数 (N, (%))	20(100%)	23(100%)	107(100%)	23(100%)	43(100%)	30(100%)	21(100%)
	発現数 (N, (%))	<10*	0	0	0	<10*	0	<10*

* MID-NET®の公表基準に基づき 10 未満の集計値が特定できないようマスクしている。

表2. 調査2における臨床検査値異常等のデキサメタゾン単剤群に対する各群のハザード比及び95%信頼区間

肝機能検査値異常	N (人)	対象者数 (人)	追跡期間 (人年)	発現数	粗発現率(/年) [95%CI]	性別・年齢		粗ハザード比 [95%CI]	性別・年齢 調整済みハザード比 [95%CI]
						調整済み発現率(/年) [95%CI]			
対照群	1311	1192	24.76	85	3.43 [2.78-4.25]	3.98[2.92-5.44]	reference	reference	
曝露群1	582	554	8.66	21	2.43 [1.58-3.72]	2.62[1.24-5.51]	0.67 [0.42-1.09]	0.63 [0.39-1.02]	
曝露群2	214	195	4.32	12	2.78 [1.58-4.89]	2.69[0.94-7.72]	0.82 [0.45-1.51]	0.82 [0.44-1.5]	
曝露群3	857	796	16.85	41	2.43 [1.79-3.31]	2.99[2.03-4.4]	0.67 [0.46-0.97]	0.65 [0.44-0.95]	
曝露群4	485	377	9.43	68	7.21 [5.68-9.14]	7.15[5.09-10.03]	2.28 [1.65-3.15]	2.27 [1.64-3.14]	
曝露群5	859	794	17.48	73	4.18 [3.32-5.25]	3.89[2.41-6.27]	1.11 [0.81-1.53]	0.98 [0.71-1.36]	
腎機能検査値異常									
対照群	1311	761	15.32	67	4.37 [3.44-5.56]	7.8[5.64-10.79]	reference	reference	
曝露群1	582	384	5.51	26	4.72 [3.21-6.93]	11.39[6.4-20.26]	0.98 [0.62-1.55]	1.14 [0.72-1.81]	
曝露群2	214	121	*	<10*	2.87 [1.44-5.74]	3.81[1.05-13.87]	0.68 [0.33-1.42]	0.76 [0.36-1.59]	
曝露群3	857	455	8.77	46	5.25 [3.93-7.01]	6.56[4.36-9.88]	1.17 [0.8-1.71]	1.02 [0.7-1.49]	
曝露群4	485	103	1.57	22	14.05 [9.25-21.34]	23.61[11.68-47.7]	3.05 [1.88-4.95]	3.33 [2.03-5.44]	
曝露群5	859	556	12.12	39	3.22 [2.35-4.4]	5.33[3.06-9.3]	0.73 [0.49-1.09]	0.83 [0.55-1.25]	
高カリウム血症									
対照群	1311	1255	26.52	67	2.53 [1.99-3.21]	4.11[3.03-5.59]	reference	reference	
曝露群1	582	567	8.72	13	1.49 [0.87-2.57]	**	0.55 [0.3-1]	0.66 [0.36-1.21]	
曝露群2	214	196	*	<10*	1.86 [0.93-3.71]	2.08[0.6-7.15]	0.74 [0.35-1.53]	0.85 [0.41-1.78]	
曝露群3	857	802	17.08	32	1.87 [1.32-2.65]	1.92[1.2-3.07]	0.73 [0.47-1.11]	0.65 [0.42-1.01]	
曝露群4	485	405	10.92	39	3.57 [2.61-4.89]	4.67[3.07-7.12]	1.55 [1.04-2.31]	1.47 [0.99-2.18]	
曝露群5	859	843	19.25	20	1.04 [0.67-1.61]	1.59[0.78-3.27]	0.4 [0.24-0.67]	0.5 [0.3-0.84]	
低ナトリウム血症									
対照群	1311	1264	27.71	11	0.4 [0.22-0.72]	**	reference	reference	
曝露群1	582	574	*	<10*	0.33 [0.11-1.02]	**	0.87 [0.24-3.15]	1.13 [0.31-4.11]	
曝露群2	214	198	4.56	0	-	-	-	-	
曝露群3	857	804	*	<10*	0.51 [0.27-0.99]	**	1.36 [0.55-3.34]	1.05 [0.42-2.6]	
曝露群4	485	470	*	<10*	0.22 [0.07-0.69]	0.23[0.05-1.14]	0.59 [0.16-2.14]	0.54 [0.15-1.93]	
曝露群5	859	843	*	<10*	0.1 [0.03-0.41]	0.25[0.04-1.77]	0.26 [0.06-1.19]	0.38 [0.08-1.73]	

ICU 入室		N (人)	対象者数 (人)	追跡期間 (人年)	発現数	粗発現率(/年) [95%CI]	性別・年齢	粗ハザード比 [95%CI]	性別・年齢調整済み
							調整済み発現率(/年) [95%CI]		ハザード比 [95%CI]
対照群	デキサメタゾン	1311	937	19.62	79	4.03 [3.23-5.02]	3.11 [2.18-4.46]	reference	reference
曝露群 1	レムデシビル	582	329	4.58	22	4.8 [3.16-7.29]	4.68 [2.22-9.88]	1.01 [0.63-1.62]	0.89 [0.55-1.44]
曝露群 2	ファビピラビル	214	97	2.25	17	7.57 [4.71-12.18]	6.85 [2.92-16.09]	1.95 [1.15-3.3]	1.76 [1.04-2.99]
曝露群 3	アジスロマイシン水和物	857	767	16.77	19	1.13 [0.72-1.78]	0.85 [0.43-1.68]	0.28 [0.17-0.46]	0.29 [0.17-0.48]
曝露群 4	ナファモスタットメシル酸塩	485	447	*	<10*	0.38 [0.16-0.91]	0.32 [0.08-1.24]	0.11 [0.05-0.28]	0.11 [0.05-0.28]
曝露群 5	レムデシビル/デキサメタゾン	859	377	7.55	66	8.75 [6.87-11.13]	9.3 [5.92-14.6]	2.11 [1.52-2.93]	1.83 [1.31-2.57]
呼吸療法の導入									
対照群	デキサメタゾン	1311	474	8.49	122	14.37 [12.04-17.17]	13.14 [9.95-17.36]	reference	reference
曝露群 1	レムデシビル	582	234	3.12	59	18.92 [14.66-24.42]	30.37 [18.69-49.35]	1.11 [0.81-1.52]	1.21 [0.87-1.68]
曝露群 2	ファビピラビル	214	85	1.63	26	15.99 [10.89-23.48]	26.38 [14.78-47.07]	1.17 [0.77-1.8]	1.24 [0.8-1.9]
曝露群 3	アジスロマイシン水和物	857	346	5.48	76	13.87 [11.07-17.36]	18.05 [13.34-24.44]	0.87 [0.66-1.17]	0.87 [0.65-1.16]
曝露群 4	ナファモスタットメシル酸塩	485	158	2.55	54	21.14 [16.19-27.6]	26.1 [17.17-39.66]	1.41 [1.02-1.95]	1.45 [1.05-2.01]
曝露群 5	レムデシビル/デキサメタゾン	859	113	1.46	57	39.13 [30.19-50.73]	64.65 [36.5-114.5]	2.43 [1.77-3.33]	2.51 [1.79-3.51]
死亡									
対照群	デキサメタゾン	1311	1311	28.56	80	2.8 [2.25-3.49]	4.93 [3.75-6.47]	reference	reference
曝露群 1	レムデシビル	582	582	*	<10*	0.86 [0.43-1.73]	1.79 [0.73-4.41]	0.36 [0.17-0.75]	0.42 [0.2-0.88]
曝露群 2	ファビピラビル	214	214	*	<10*	0.6 [0.19-1.87]	1.12 [0.22-5.67]	0.21 [0.06-0.65]	0.26 [0.08-0.82]
曝露群 3	アジスロマイシン水和物	857	857	18.71	51	2.73 [2.07-3.59]	**	1.13 [0.79-1.62]	0.93 [0.64-1.34]
曝露群 4	ナファモスタットメシル酸塩	485	485	14.12	67	4.74 [3.73-6.03]	5.52 [3.99-7.64]	1.58 [1.13-2.21]	1.51 [1.08-2.11]
曝露群 5	レムデシビル/デキサメタゾン	859	859	19.82	14	0.71 [0.42-1.19]	2.03 [1.04-3.97]	0.29 [0.16-0.53]	0.4 [0.22-0.72]

* MID-NET®の公表基準に基づき 10 未満の集計値が特定できないようマスクしている。

** 推定されず